

令和2年度 グーフィークラブ事業計画

1. 概要

①運営目標

- 落ち着いた環境の中で生活できるように、25名の定員での運営を行います。
- 子ども主体の活動ができる環境づくりを心掛け、リーダーを中心に協力し合い子ども同士が支え合う生活を学習します。
- 実体験を通して学ぶアクティブラーニングを組み込みながら、乳幼児期の豊かな体験や経験が学びの根底にあることから、遊びや生活の中で完成を働かせ、良さや美しさを感じ取ったり、不思議さに気付いたり、いろいろな方法を試したりしたりしながら大人や子ども同士の関わりの中で非認知能力が育まれる活動を行います。
- 白鳩チルドレンセンター東大阪年長児との交流会を定期的に行い、園児の就学に対する意識づけのサポートをする役割を担います。
- 平日の利用より学校の長期休みの利用の希望が増えてきているので保護者の要望に耳を傾けながらニーズに沿えるように運営を行います。

②定員 25名

ただし、必要に応じてスポット利用を受け付けます。また、夏休みなど長期休暇の際もスポット利用の受け入れをします。

③事業日数 290日 (日曜、祝日、園行事の日、12/30～1/4は休園)

④開所時間

平日 8:30～18:00 (延長は7:00～8:30・18:00～19:00)

土曜 8:30～17:00 (延長は7:00～8:30・17:00～18:30)

⑤職員数 指導員 1名 (保育士資格有)

2. 事業運営

①教育理念

- 放課後の生活を安全に守り、基本的な生活習慣の指導や学習の習慣づけの援助を行う
- 子ども同士共同しながら生きる力を育む

②教育方針

1. 生活の流れを把握し、リーダーを中心に子ども主体の活動を行い、コミュニケーション力をつける
1. 正しい生活習慣を定着させる
1. 他律から自律へと成長していく過程を援助する

1. 「早寝 早起き 朝ごはん」を守る

1. 個々の存在を認める

③学年別目標

1、2年生

- 大事なことを聞く力、話題に沿って話し合う態度を身に着ける
- 集団の一員として自分の役割について気づき、適切な行動ができるようにする

3、4年生

- 筋道を立てて話す力、聞く力、話し合う力を身に着ける
- 目的を持って仲間とともにやり遂げる力を育む

④職員配置 学童保育指導員 1名（保育士資格有）

⑤活動内容

- 高学年が卒業してしまい新3年生がリーダーとなるためリーダー育ても行いながら子ども同士協力し合い、子ども主体の活動を行う
- 乳幼児クラスに入りお手伝いすることで自己肯定感を高める
- 保小連携（同園年長児が不安なく入学できるようつなげるため）
- 野外活動を楽しみながら四季の変化や生活技術、社会のルールを学ぶ

⑥家庭との連携

- 毎月、活動内容を報告する「おたより」を配布する
- 連絡帳、お迎え時などを通し、子どもの活動や様子を伝える
- 必要に応じて懇談会・個人面談を行う

⑦人材育成

- 職員の資質向上及び専門性の向上を図るため、園内研修・園外研修へ参加する

⑧地域貢献

- 出張保育、園庭開放の手伝い、保育参加
- 瓢箪山公園の清掃
- 地域の小学生の親子に対して相談対応を行う

⑨健康・安全

- 子どもの表情や様子の把握、異変時に注意し的確な対応を行う
- 生活習慣、衛生管理の定着をはかる
- 地域、学校などと連携をとり、登下校時の安全確保を行う

- 警報発令時、学校と連携し子どもの所在確認と安全確保を行う
- 看護師による園内救急講習に参加する（AED の使い方、応急処置など）

⑩苦情解決

- 「苦情申し出窓口」（指導員が受付担当者）、「御意見箱」を玄関に設置し、個人面談、連絡ノート、アンケートなどで保護者の意見を聞き、いただいた意見や要望については概ね 24 時間以内に回答し、活動に反映させます。尚、回答については掲示板や広報に掲示をします。

⑪リスクマネジメント

- 施設内や利用する公園、学校までの道中の危険個所を子どもたちと見つけ、なぜ危険なのか、どのように回避すればよいのかを自分たちで考えながら指導していきます。
- 怪我や事故には十分に注意をはかりますが、起こってしまった場合については子どもたちに適切な指導をするとともに、原因を究明し、再発の防止に努めます。また、必要に応じて迅速に医療機関への受信をします。
- 災害時の避難場所、避難方法、備蓄品などについて子どもたちと一緒に体験し災害時の行動について学習します。